



ロータリーは機会の扉を開く

会報

2020 ▶ 2021
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ
会長目標

60年の歴史に敬意と感謝を
そして、これから100年に
向けての礎を築こう!

会長/辻本 哲也 幹事/燕 美雪

プログラム

- 本日
「来賓卓話」 オロロンひまわり基金法律事務所
弁護士 山村 晃一氏
- 次週予定
「食の秋 特別企画」
北海道中央葡萄酒株式会社
代表取締役 三澤 計史氏

- 会員誕生日
渡部 英次
- 結婚記念日
渡邊 裕久

No. 2878
第13回 10月14日

出席報告

前例会

会員総数	27名
出免会員	3名
出免出席	3名
基準会員出席	17名
出席率	74.07%

前々例会

第11回 9月30日

欠席会員	4名
内メイクアップ	0名
修正出席率	85.71%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

1. 10月は米山月間、11月はロータリー月間です。地区より連絡を受け、今年度の米山奨学金クラブ負担分は一人4000円のお願いが来ておりますが、今年度は3000円の予定で皆さんから集めておりますので、我がクラブは3000円のまま計画を進める事にしました。

📁 幹事報告

- 深川ロータリークラブより、9月会報と10月例会案内を受領しました。
- 妹背牛ロータリークラブより、10月例会案内を受領しました。

ゲスト 留萌警察署長 松谷 剛様

👤 委員会報告

奉仕プロジェクト委員会(財団) 高橋委員長
10月は米山記念奨学会、11月はロータリー財団の月間です。財団の目標が1人150ドル17050円で、米山が一人16000円ですから、13000円の目標になります。クラブで3000円を皆様から収集済み。10月・11月に皆様からのご厚意を受け付けます。よろしくお祈いします。

🗨️ ニコニコBOX

- 松谷署長、ようこそ留萌ロータリークラブへ。本日はよろしくお祈いします。 辻本会長
- 松谷署長、ロータリークラブへようこそ。本日はよろしくお祈い致します。 燕幹事
- プレゼント頂きました。 桜元会員

第12回 10月7日(水) 天候/雨

- 誕生日プレゼント頂きました。 渡部会員
- 誕生日プレゼント頂きました。 福士会員
- 松谷様、ようこそロータリークラブへ。本日よりしくお願いします。 関野会員

前 回	300,000円
今 回	8,000円
累 計	308,000円

プログラム……………

「来賓卓話」

留萌警察署 署長 松谷 剛様

本日このような会へお招きいただき、誠にありがとうございます。日頃、立场上簡単な挨拶などはしておりますが、30分も話すとなるとどんな話をすれば良いのか悩んでしまいます。前任の署長さんがどんな話をしたかの資料も残っておりませんので、同じような話をするかもしれませんが、その所はお許し下さい。

まずは簡単に自己紹介をさせていただきますが、私は出身が道南の木古内町で現在58歳になります。定年退職まであと1年半という状況であります。北海道警察に入ったのが昭和55年です。勤続41年目になります。歴任部署としては、私は普通の警察官とは少し違ひまして、刑事だとか交通だとかの専門部署には勤務しませんでした。一番多く経験したのが機動隊でございます。札幌真駒内にありますが、機動隊の仕事内容はその時々で少し変化がありますが、現在は、普段は札幌アメリカ領事館、ロシア・韓国・中国の領事館、または千歳空港などの警備が主な仕事となっています。また、災害等がありますと現地へ赴いて対応するなど、災害については北海道に限らず本州に行く事もあります。阪神淡路大震災、東日本大震災なども北海道から部隊として派遣されることになります。機動隊が長いと言っても41年全てではなくて、一回出てまた入ったりして通算16年ちよつとの経験があります。警察の階級では巡査から今の私の階級の警視までであり、その上には国家公務員になる警視正以上がありますが、機動隊は機動隊

長が警視ですので、機動隊の中で全ての階級で機動隊を経験いたしました。巡査、巡査部長、警部補、警部、警視という事で経験を積みました。私の知る限りでは過去2人しかいないと思います。では、なぜ機動隊が長いかと申しますと、警察には全国で10科の全国大会があり、全道47警察に皇宮警察が加わって48チームで、柔道、剣道、逮捕術、けん銃射撃の種目で競い合があります。大会はそれぞれ別の日に分かれて行われますが、その全国大会に出る選手を10科特別訓練員と言い、その選手が機動隊に集められます。機動隊に集めて重点的に訓練しているという状況です。という事で、私はけん銃射撃をしており機動隊の経験が長いという事になります。せっかくですので、私の成績を自慢したいと思います。全国で力を持っているのは、やはり警視庁や大阪府警でしたが、私が選手でいる時には、全国警察けん銃射撃競技大会で団体優勝を1回しまして、準優勝も2回達成しています。私ではありませんが、個人成績でも北海道は成績がよく、優勝者を複数出しております。そのような事から北海道警察の立場を大きく上げることが出来ました。

警察の大会以外でも射撃大会があり、私は全日本選手権のセンターファイヤーピストルの部門で2位になった事がありますし、国民体育大会にも過去8回出場し、入賞したりしていました。北海道警察でけん銃競技以外で他の種目の選手を宣伝すると、現在は剣道が大変優秀でして、皆さんご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、栄花直輝という選手がおりまして、全日本選手権を制覇してますし、世界剣道大会でも団体・個人優勝しており、テレビでも一撃にかけるというタイトルで放映されたり、現在はNHKで全日本選手権の解説をしています。そのような選手がおりますと、憧れから強い選手が入って来てまた強くなる事になります。今だ現役で安藤翔選手も活躍しております。私も選手を辞めて、今の階級になってから札幌以外の勤務が増えまして、新得、富良野、釧路を経て、十勝の本別署で2年署長を務めさせていただきました。その後、警察本部の教養課長を経

て留萌署長として着任いたしました。留萌近郊の勤務は初めてで新鮮に感じています。

私の話はここまでにして、今日は留萌の犯罪発生状況と交通事故の死亡事故等の発生状況についてお話をさせていただきます。

まず犯罪と言いましても、刑法犯の認知状況についてです。認知の件数と言いまして、警察に被害届を提出した件数となります。ですから全く警察に通報しないものや、通報しても捜査を希望しないで正式に受理していないものは件数に入っておりません。それでは過去を遡って発生状況の推移を紹介いたしますと、北海道は昭和21年当時は6万件以上の認知件数でした。22年には75,873件となり、その後9万件以上になったり減ったりを繰り返し、7万件を下回る事はありませんでした。一番多かったのが昭和36年の105,365件となります。平成17年までの44年間、7万件を下回る事はありませんでした。平成で一番多いのが平成14年で、94,091件となっております。ただ、平成15年から毎年前年を少しずつ下回る結果が出ており、17年連続で減少が続き、昨年は23,607件と最小を記録しております。一番多かった昭和36年から実に77%ダウンしています。罪種別で一番多いのは窃盗犯で、平成14年の割合で言うと全体の88%が窃盗犯となります。しかし、昨年については窃盗犯は65%と低くなっています。そのかわり数が増えたのが知能犯で、平成14年は1.7%だったものが、昨年は3.7%と増えており、最近の特殊詐欺などが増えているのが目立ちます。やはり犯罪として一番注目されるのが凶悪犯でして、14年の0.4%から0.6%と割合的には若干上昇しています。全国的に犯罪が多かったのが平成14年で、285万3,739件ありました。やはりバブルが崩壊して増えたと思われませんが、その後減少に転じ、昨年では74%のマイナスとなっております。

留萌警察署の数字で見ますと、ピークは全道と同じ時期の昭和39年1,163件、その後200件台に下がっていましたが、平成のピークは平成15年の426件が一番多かったのですが、昨年は61件と94%以上の減少となっております。留萌署



だけで見ると19分の1となっており、減少の要因は社会の変化や豊かな社会、少子化など色々考えられますが、やはり一番は市民皆さんの犯罪への取り組みで、防犯協会の立ち上げや地道な防犯活動や広報・啓発活動などが一番の要素ではないかと思います。北海道のピーク時、昭和36年の10万件以上とお話いたしました。当時の警察の力であれば、今コロナ関係で言われる医療崩壊と同じで、当時は警察崩壊が起きており、あれだけ犯罪が多いと全て対応する事が出来ず、大きい事件にしか対応出来なくて、軽微な犯罪の自転車泥棒や万引き、車上荒らしなどは毎日何件も発生していましたが、ほぼ犯人を捕まえる事が出来ませんでした。また、万引きに至ってはお金を払う意思があれば、捕まったとしてもお金を払うと言って店側が了承すれば事件として処理することなく終わらせて、取扱時間を減らして違う犯罪に力を注ぐ場面もありました。そのような事から、警察官の増員が進められていきました。万引きなどは全件処理として、お金を払うから許すなどは行わず、普通に事件として取り扱う事になっています。10年以上前に割れ窓理論、破れ窓理論などと、当時ニューヨークのジュリアーノ市長が地下鉄の落書きを消して、小さな犯罪も見逃さないとする施策をし、ニューヨークの治安を改善させたという事もあり、小さな犯罪もきちんと対応するという事が出来て非常に良い方向に向かっているという状況です。

それでは、本年の留萌の状況をお知らせすると、9月末までで現在42件の認知件数になっています。昨年の9月末までは45件でしたので、

第12回 10月7日(水) 天候/雨

3件の減少ですがあまりわかりません。但し凶悪事件は1件もありません。一番多いのが窃盗犯で31件です。うち侵入窃盗が9件で、それも一般家庭に入る侵入窃盗は0件で、すべて会社事務所や店舗への侵入になっています。その他は万引きが9件、車上狙いが2件でしたが、10月に入って3件発生しています。内2件はドアロックをせず、車内に現金を置いていたという事です。件数もここまで減るとそれ以上あまり減らず、増えたり減ったりを繰り返しています。少ない方がやはり良いので努力はして参ります。しかし犯罪が減ったと言いましても、全国・全道では特殊詐欺が増え、被害も増えています。留萌では特殊詐欺も0件となっています。特殊詐欺と言いましても、額が1万~2万という額から何百万といった額まであり、メールなどで未納料金がある等から、訴訟はがき等があり、最近ではコンビニで電子マネーの購入を指示されたりするパターンが多くなっています。被害額が大きいのが、皆様ご存知の“オレオレ詐欺”で、今はキャッシュカードを騙し取られるなどが増えています。手口として、警察官を名乗る、銀行員を名乗る、市役所職員を名乗るなどをしてきます。そして、キャッシュカードが使われているとか、使われなくなるなどと言って受け子が取りに行く場合が多くあります。この場合は逃げなければならぬので大きな町でこの事件は発生しています。留萌の場合はJRも本数がありませんし、このような特殊詐欺は発生しておりません。

次に交通死亡事故について話しますと、北海道は全国ワースト1という不名誉を取っておりますが、昭和45年に初めて北海道がワースト1になり、それが4年連続が続き、昭和49年は埼玉県がワースト1になり、次の年からまた北海道が11年連続ワースト1に、昭和61年に愛知県が1位になって1位を返上したのですが、また次の年から4年連続最下位になってしまいます。平成3年にまたまた愛知県がワースト1に返り咲きましたが、また次の年からずーっとワースト1になってしまいました。しかし、平成17年から現在まで北海道はワースト1を返上してい

ます。今年は今までの時点で見ますと、現在北海道で106人、1位の愛知県とは9人の差になっています。1位：愛知県、2位：神奈川県、3位：北海道の順になっていて、2位の神奈川県とは1人の差になっています。事故死が一番多かった年が昭和46年の889人で、全国では前の年の昭和45年が16,765人と多くの方が亡くなっておりまして。昨年は、北海道が152人、82.9%の減少で当時の5分の1になっています。全国でも3,125人と80.8%となっています。減少の理由は道路環境が劇的に良くなった事、啓発運動などによる注意喚起、自動車の性能の向上で自動ブレーキ等があります。今年度秋の全国交通安全運動が9月21日から30日までの期間でありましたが、今年はさんざんなもので、10日間の間に12人の死亡事故がありました。そういう事で何とか危機的な状況を抑えたいと思っております。留萌警察署管内では昨年4人の方が亡くなっていますが、本年はご存知の通り0人となっています。ちなみに平成30年は2人、29年は3人となっています。今年、人身事故は11件発生していますが、昨年に比べますと-7件であと3ヶ月を0人で経過して今年の死亡事故0人を達成する事を願っています。皆様のご協力をよろしくお願ひします。これから段々暗くなりますので、運転は十分気を付けてお願ひします。

以上、留萌警察署管内の現状をお話いたしました。留萌警察署の定員は70名で、20歳から60歳までおありまして平均年齢が39歳となっています。独身者20名おあります。この地域が安心安全に暮らせるようこれからも頑張りますので、今後ともよろしくお願ひします。本日は貴重な時間を使わせていただき、ありがとうございます。